

高温注意！

中干し実施で根を健全に！

高温気象が続き、茎数が急増したほ場では、籾数過剰による品質低下が懸念されます。適切な中干しとこまめな水管理により、根の健全化を図りましょう。

今後7・8月は高温が予想されています。そのため出穂期は「平年より3～4日程度早い」と予想されます。

1 6月29日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月9日)

● 草丈(やや長) 茎数(やや多) 葉数(並) 葉色(並)

区分	本年値	生育目標値 比・差	前年値 比・差
草丈 (cm)	53	108%	92%
茎数 (本/m ²)	539	108%	89%
葉数 (葉)	10.0	±0.0	-0.5
葉色 (SPAD値)	38.7	-0.3	-2.7

2 コシヒカリの管理ポイント

- (1) 生育過剰のほ場は大ヒビにならない程度に「しっかり」中干しする。
- (2) 中干しは「遅くとも出穂期 30 日前まで」に終了し、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理に移行する。
- (3) 登熟期の高温に備え、ケイ酸質資材を積極的に施用する。
- (4) 幼穂長、生育量をこまめに確認し、穂肥時期・量を適切に判断する。

3 その他の管理ポイント

- (1) 出穂期は全般に平年より早い見込みである。早生品種では、分施の1回目穂肥を「遅れずに施用」する。